

地域教育懇談会だより

郡山市教育委員会

令和6年12月5日(木)

大成地区「地域教育懇談会」を開催しました

大成地区「地域教育懇談会」を11月19日(火)午後6時30分から大成地域公民館で開催しました。大成小学校、郡山第一中学校、大成保育所、ひかり保育園、ユーパロつつみ分園の教職員や保護者、地域の皆様など、約50名の参加がありました。

前半は、小野義明教育長のあいさつに続き、教育委員会事務局職員が、本市の教育施策について説明しました。

後半は郡山第一中学校長、大成小学校・郡山第一中学校副校長の司会のもと、学校・地域・教育委員会による熱心なグループ協議が行われました。

グループ協議

各課、各センターにおける教育施策の説明

学校教育推進課

1人1台タブレット端末を活用した授業の推進、デジタル新聞の活用促進、自他の生命(いのち)を大切にする教育の充実、「安心・安全」に向けた地域との連携等

学校管理課

体力向上のための学校体育の充実、コミュニティ・スクール、働き方改革、部活動等の在り方に関する指針、部活動の地域移行等

教育研修センター

教職員研修の推進、ICTを活用できる環境の充実、オンライン学習教材の活用、情報モラル教育の充実等

総合教育支援センター

不登校児童生徒への支援、心身の健康状態を可視化するツールの活用、いじめ問題や虐待等の対応に向けた体制の整備等

後半のグループ協議では、地区内の小・中学校を代表して、郡山第一中学校長から小・中学校の現状や話題提供の理由を話していただいた後、3つのグループに分かれ、様々な立場、視点からの活発な意見交換が行われました。

地区内小・中学校による話題提供

【郡山第一中学校 新田校長】

- 持続可能な地域との連携について
- 児童生徒の地域参画について
- 地域とともにある学校の在り方について



地域の皆様から御意見をたくさんいただきました！

<地域行事への児童生徒の参画について>

- ・コロナ禍前には、児童生徒はお祭りや地域運動会などに育成会を通じて参加していたが、コロナ禍以降は参加数が減少している。公民館行事も中止や縮小となり、児童生徒の地域参画が減っている。
- ・地域で開催する各種スポーツ大会に子どもたちの参加を募っている。小学生の参加が多い。
- ・コロナ禍により減少してしまった交流行事を復活させることにより、開かれた地域行事にしていきたい。
- ・小学校の秋祭りに中学生も参加できるようにしていく。



<地域団体と学校との連携について>

- ・見守り隊が定期的に学校を訪問し、授業を参観したり管理職と意見交換したりしている。
- ・地区の文化祭行事等を通して、世代間交流を広げていきたい。
- ・育成会がない町内会が増えている。加入者も減少しており、今後の育成会の在り方について考えていかなければならない。
- ・各種団体の組織や世代を超えた交流の場を設定することにより、互いの顔が見える関係を築いていく必要がある。
- ・地域を牽引する人材の確保が必要である。子どもたちが地域行事に参加しやすい機会を模索していく。



グループ協議では、貴重な御意見をたくさんいただくことができました。今回の地域教育懇談会がきっかけとなり、学校・家庭・地域の連携がますます図られますよう、今後も御協力をよろしくお願いいたします。